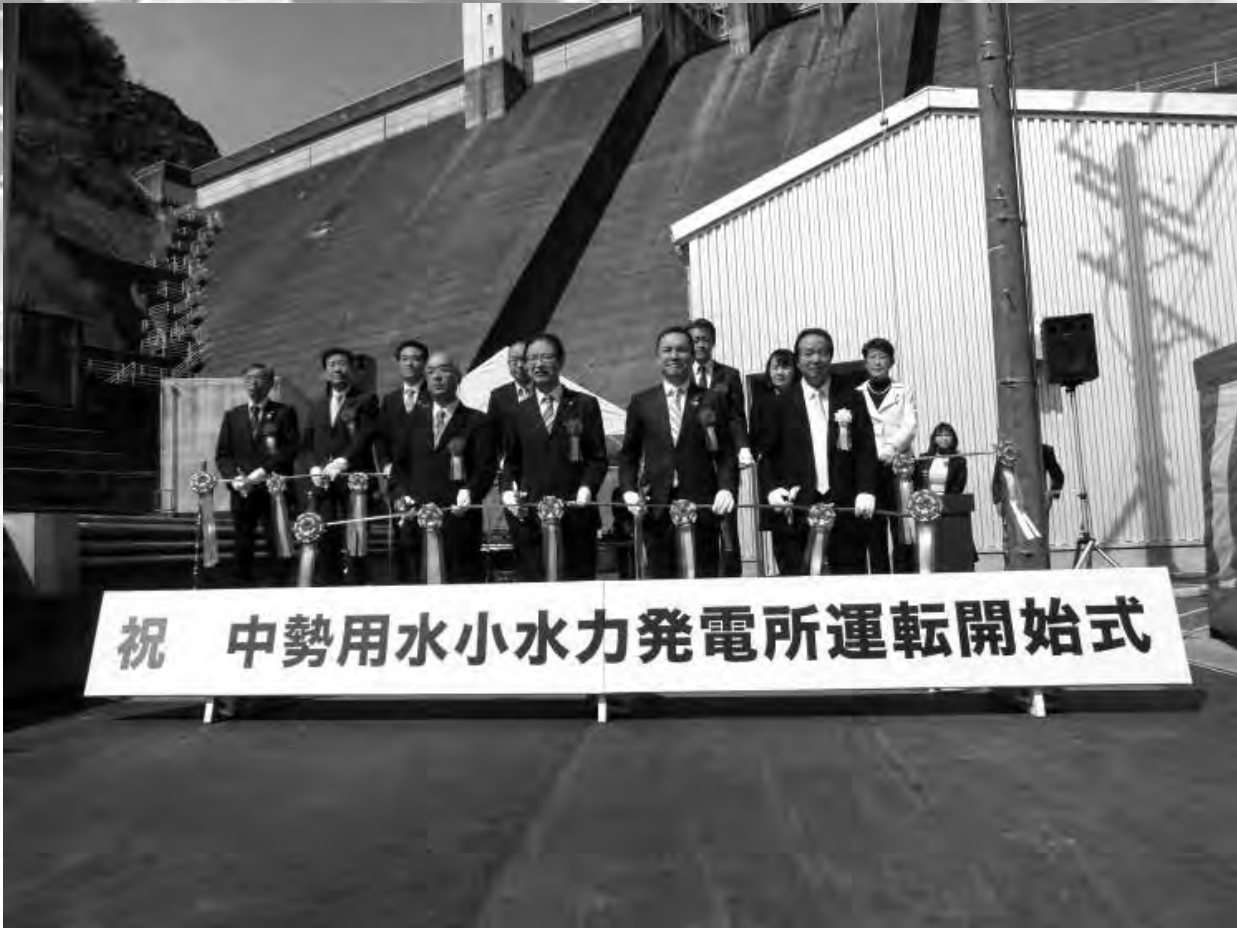


三重の土地改良アラカルト

「中勢用水小水力発電所」 運転開始式を開催

津農林水産事務所 安濃ダム管理室長 南部正臣



来賓によるテープカット

3月27日(日)、三重県が津市芸濃町の安濃ダムにおいて建設を進めていた農村地域自然エネルギー活用推進事業中勢用水地区の小水力発電所が完成し、中勢用水土地改良区主催の運転開始式が開催されました。

安濃ダムは、国営かんがい排水事業中勢用水地区にて建設され、平成元年12月より三重県が管理を行っている有効貯水量9,800千 m^3 の農業用水専用の利水ダムで、小水力発電所は、その放流水のエネルギーによって最大出力338kWを発電するものです。

施設は4月より中勢用水土地改良区が管理し、発電された電力は全量を電力会社に売却し、収益は農業水利施設の維持管理に充当することとしています。

式典は、桜の開花の中、主催者を代表して中勢用水土地改良区理事長の挨拶で始まり、運転開始セレモニーとして知事や市長ら来賓によるテープカットが行われました。

三重県では、農業用水を活用した小水力発電施設の整備を行うことにより、年間で93万8千kWhの発電を行い、約

521tの二酸化炭素を削減することとしています。

また、当事業は、本年度に周辺整備を実施し、完了する予定です。



水車及び発電機